

2015 (平成27)年度東京外国語大学アジア・アフリカ言語文化研究所

## 言語研修生募集要項

# ILCAA Intensive Language Courses 2015

### 言語研修について

この研修はアジア・アフリカ地域での現地調査・研究や専門的業務に役立つ現地語の習得を目指す短期集中型語学研修です。日本の専門研究者と母語話者とが一緒に教授にあたる生きた言語教育である点が特徴です。

大学在学学生、大学卒業者または上記の目的に必要な学力及び動機をお持ちの方であれば、ご応募いただけます。

### 募集言語について

アラビア語パレスチナ方言、古ジャワ語、モンゴル語

各言語の研修期間、研修時間など、研修内容についての詳細は、それぞれのページをご覧ください。

### 募集定員について

各言語 約10名（当研究所で書類審査により選考します。）

### 募集期間について

第一次募集期間：2015年5月1日（金）～ 2015年5月27日（水）

受付時間 午前9時30分～午後5時

持込みの場合、土・日・祝日を除きます。

郵送の場合は、5月27日（水）必着です。

Eメールの場合は、5月27日（水）日本時間午後5時必着です。

定員に満たない場合は、二次募集を行います。定員に達すれば、二次募集はありません。

第二次募集期間：2015年6月1日（月）～ 2015年6月25日（木）

受付時間 午前9時30分～午後5時

持込みの場合、土・日・祝日を除きます。

郵送の場合は、6月25日（木）必着です。

Eメールの場合は、6月25日（木）日本時間午後5時必着です。

[主催／企画] 東京外国語大学アジア・アフリカ言語文化研究所 <http://www.aa.tufs.ac.jp/>

[協力] 大阪大学大学院言語文化研究科 <http://www.lang.osaka-u.ac.jp/>

## 応募方法について

所定の受講申込書に必要事項をご記入の上、在学証明書又は最終学校の卒業証明書(写)を添えて、お申し込み下さい。

※申し込み方法は、直接持ち込み、郵送、Eメールのいずれかとします。

※申込書に記入いただくEメールアドレスは、選考結果通知PDFをお送りしますので、ilcaa-ilc@tufs.ac.jp からPDFファイルが受信できるアドレスをご記載ください。

※郵送の場合は、封筒の表に「言語研修〇〇語申し込み」と朱書き願います。

## 受講申込書送付先および各種問い合わせ先について

東京外国語大学アジア・アフリカ言語文化研究所2階206室

研究協力課共同研究拠点係

〒183-8534 東京都府中市朝日町3-11-1

TEL 042-330-5603, FAX 042-330-5610

Email ilcaa-ilc@tufs.ac.jp

## 選考結果について

受講の可否は、一次募集応募分については、6月下旬までに本人あてにEメールにて通知します。二次募集を行った場合は、7月上旬に本人あてにEメールにて通知します。

## 受講手続きについて

受講を許可された方は、所定の期日までに、研修言語ごとに定められた額の受講料を一括納付して下さい。

受講料は各言語ごとに異なりますので、それぞれのページをご覧ください。

受講料振込先情報および振込期日は、選考結果通知に記載してあります。

口座振込に係る手数料はご負担ください。

## 修了要件と修了証書について

研修言語ごとに定められている授業時間数の3分の2以上出席し、かつ所定の成績を収めた受講者に修了証書を交付します。

## 文化講演について

研修期間中、文化講演として、担当講師以外の外部講師を招いた授業を取り入れています。文化講演は一般向けに公開することがあります。

## 受講までの流れについて

### 受講申込



郵送, Eメール, 直接お持込にてお申込みください.

### 確認メール送信



郵送またはEメールにてお申込みいただいた方には, 受付確認メールをお送りいたします.

### 選考結果通知をメール送信



選考を通過された方には, 受講料振込先および, 初日の集合時間等についても, あわせてご案内いたします.

### 受講料振込



通知書に記載された期日までに, 受講料をお振込みください.  
振込手数料は自己負担となります.

### 受講料振込確認メール送信



期日までにお振込が確認できない方には, 事務局から確認メールをお送りします.

### 研修に関する連絡をメールにてお知らせ



各言語ごとにメーリングリストを作成し, 必要に応じて, 研修に関するご連絡を差し上げます.

### 研修開始

## 受講上の注意について

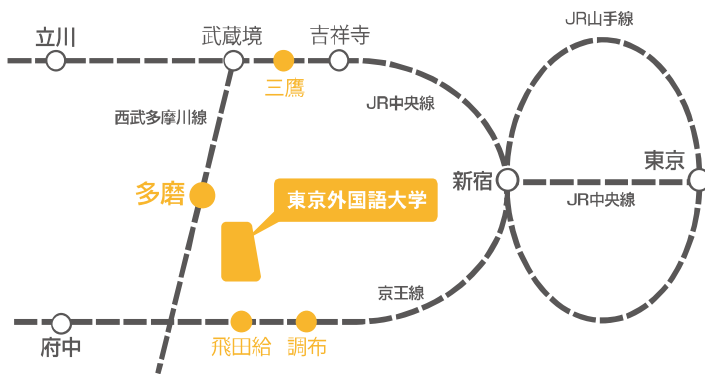
- 会場には駐車場はありません。受講時は公共交通機関をご利用ください。
- 本研修の受講生は正規の学生ではありませんので、学割定期券の購入はできません。
- 宿泊施設については、ご自身でご手配くださいますようお願いいたします。

## 研修会場について

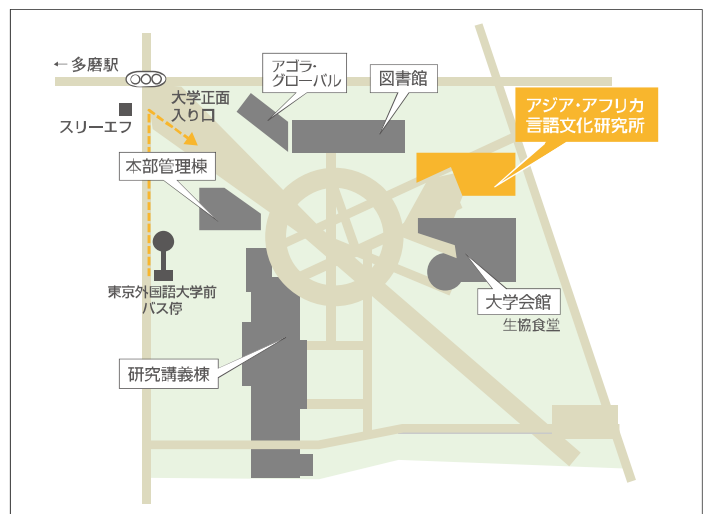
### 東京会場 [アラビア語パレスチナ方言, 古ジャワ語]

東京外国語大学アジア・アフリカ言語文化研究所  
〒183-8534 東京都府中市朝日町3-11-1  
TEL 042-330-5603, FAX 042-330-5610

### AA研へのアクセス



- JR中央線「武蔵境駅」から西武多摩川線に乗り「多磨駅」で下車(所要5分)。駅から徒歩5分。 ※西武多摩川線は12分間隔。
- JR中央線「三鷹駅」から小田急バス鷹52系統に乗り「東京外国語大学前」で下車(所要30分)。停留所から徒歩2分。  
※小田急バス時刻表:  
<http://www.odakyubus.co.jp/cgi-bin/search/mapsearch.cgi>
- 京王線「飛田給駅」から京王バス飛02系統・調33系統(いずれも多磨駅行き)に乗り「東京外国語大学前」で下車(所要7分)。停留所から徒歩2分。
- 京王線「調布駅」から京王バス調33系統(多磨駅行き)に乗り「東京外国語大学前」で下車(所要20分)。停留所から徒歩2分。  
※京王バス時刻表:<http://www.bus-navi.com/>



## 大阪会場 [モンゴル語]

貸し会議室 大阪研修センター 十三 (阪急十三駅西口より徒歩3分)

〒532-0024大阪市淀川区十三本町1-12-15

ドルチェヴィータ ファースト 3F 会議室A

TEL 06-6302-4040, FAX 06-6302-4048

新大阪から地下鉄・阪急利用の場合

「新大阪」駅から大阪市営地下鉄御堂筋線(なかもずまたは天王寺方面行)にて「西中島南方」駅下車, 阪急千里線「南方」駅(梅田方面行き)に乗り換え「十三」駅下車.

新大阪からJR利用の場合

「新大阪」駅からJRにて「大阪」駅下車, 阪急線「梅田」駅に乗り換え「十三」駅下車 (すべての電車が十三駅に停車します) .



# アラビア語パレスチナ方言

》 初学者向け    》 東京会場    》 日本語での授業

---

## 言語について

近年中東地域への関心からアラビア語を学ぶ人が増えてきたが、通常日本でアラビア語を学ぶ場合、それは「文語アラビア語」(「フスハー」「現代標準アラビア語」「古典アラビア語」と呼ばれるもので、いわゆる「アラブ諸国」のどこでも通用する便利な言語である。

しかしこの「文語アラビア語」は、東はイラクから西はモーリタニアまで及ぶ広大なアラブ圏で人々が母語として用いているアラビア語(これを「口語アラビア語」と呼ぶ)とは大きく異なり、学校で後天的に学ぶものなので、口語アラビア語を母語とする者でも必ずしもそれを自由に用いてコミュニケーションできるわけではない。従ってアラブ圏で生活する場合、口語アラビア語を用いることがより円滑なコミュニケーションにつながる。ところが口語アラビア語には地域ごとに方言差があるので特定の地域に関心がある場合、その地域の方言を学ぶことが好ましい。

「アラビア語パレスチナ方言」は、伝統的にはおおよそ現在のイスラエルとパレスチナ自治区に相当する地域で話されている方言である。その話者の一部は当該地域で生じた紛争のため特にヨルダンなどの周辺地域や欧米・アラビア湾岸諸国へと移住したので、同方言の話者はより広い地域に分布している。実際には「パレスチナ方言」の内部でも様々な方言が存在するが、本研修では特にエルサレムで用いられている方言を中心に学習する。

## 研修の対象者について

文語・口語を問わず、これまで「アラビア語」の学習の経験のない者を優先する。

## 研修内容について

アラビア語の方言は文字言語ではないので、本研修のテキストはアラビア語方言論で一般的に用いられるローマ字転写による表記法を用いる。本研修は主に文法の習得と会話の練習を中心とし、講読も行う。

## テキストについて

文法説明・練習問題・語彙集・講読テキスト・文法表を含む教科書を用いる。

## 研修期間および研修時間について

2015年8月6日(木)～2015年9月11日(金) 125時間  
午前9時30分～午後4時00分  
(土日および8月13日(木), 14日(金)は休講)

## 講師について(●は主任講師)

●依田 純和(よだ すみかず)  
大阪大学大学院言語文化研究科 専任講師

Mūsā SHĀWARBAH(ムーサ・シャーワルバ)  
Lecturer, Arabic language and literature, Kaye Academic College of Education,  
Be'er Sheva

## 文化講演について

実施予定. 詳細は後日ウェブサイトにてお知らせします.  
<http://www.aa.tufs.ac.jp/ja/training/ilc/ilc2015>

## 受講料について

75,000円(教材費込み)

## その他注意事項

8月12日(水)は本学夏期一斉休業期間のため別会場にて実施することとなります.  
会場詳細は、後日受講生にお知らせします.



# 古ジャワ語

》 初学者向け    》 東京会場    》 英語での授業

---

## 言語について

古ジャワ語はインドネシアのジャワおよびバリに多くの文献が伝承されているオーストロネシア語族の言語です。現代のジャワ語から見ると少し遠い親戚関係にあります。現在では日常的には使われていませんが、古ジャワ文字やバリ文字で貝葉や石碑・銅板などに記された文献が9世紀頃から20世紀初頭まで書き記されており、ジャワやバリでは古典文学として受け継がれています。9世紀後半に書かれた古ジャワ語の『ラーマーヤナ』は東南アジアに現存する最古の文学作品として知られます。この作品のようにサンスクリット語文献からの多くの翻訳・翻案がある一方、ジャワやバリでも独自の作品が創作されました。語彙にサンスクリット語からの借用語が多く含まれていることも特徴です。また、刻文は歴史研究のための重要な史料になっています。

## 研修の対象者について

ジャワ語、バリ語を初めとする東南アジアの諸言語に関心のある方、インドネシアを中心とする東南アジアの歴史に関心のある方にはとくにお勧めできる研修です。講義は原則として英語で行いますので、ある程度の英語によるコミュニケーション能力が必要となります。文字を含めてとくに予備知識は必要ありませんが、インドネシア語、マレーシア語、フィリピン語などのオーストロネシア語族の言語あるいはサンスクリット語の知識があると理解しやすい部分があります。

## 研修内容およびテキストについて

講師はオランダ人の古ジャワ語研究の第一人者ウィレム・ファン・デル・モーレン博士と日本人のインドネシア史研究者青山亨、菅原由美、山崎美保の四人です。教材はモーレン博士が作成し海外での研修で実績がある英語教材を主に使用します。古ジャワ語の表記は標準的なローマ字転写を用いるので、古ジャワ文字の学習は必要ありません。

研修は原則として英語で行い、必要があれば日本人講師による日本語の補足を行います。第1週で古ジャワ語の文法の基本を学んだあと、第2週以降は韻文で書かれた古ジャワ語『ラーマーヤナ』を読み進めることで言語に慣れていきます。また、散文の刻文史料の解説と読解も行います。文法および読解ではテキストに基づいた復習の時間を十分に設けます。文化講演では、各分野の専門家をお招きし、古ジャワ語文献が書かれた背景となる古代ジャワ社会の歴史や美術などについて分かりやすく解説していただきます。



## 研修期間および研修時間について

2015年8月17日(月)～2015年9月4日(金) 100時間  
午前9時00分～午後5時05分(土日は休講)

## 講師について(●は主任講師)

●青山 亨(あおやま とおる)  
東京外国語大学大学院総合国際学研究院 教授

菅原 由美(すがはら ゆみ)  
大阪大学大学院言語文化研究科 准教授

山崎 美保(やまさき みほ)  
東京外国語大学大学院総合国際学研究科博士後期課程 大学院生

Willem van der MOLEN (ウィレム ファン デル モーレン)  
Senior researcher, KITLV/Royal Netherlands Institute of Southeast Asian and  
Caribbean Studies

## 文化講演について

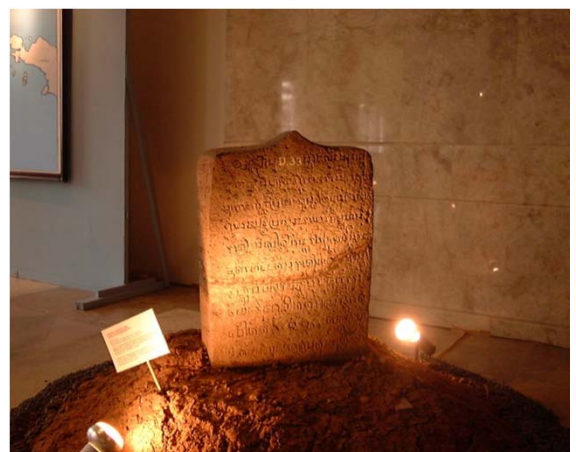
実施予定. 詳細は後日ウェブサイトにてお知らせします.  
<http://www.aa.tufs.ac.jp/ja/training/ilc/ilc2015>

## 受講料について

60,000円(教材費込み)

## その他注意事項

英語での授業となります。海外からも受講生を募集します。



# モンゴル語

》 初学者向け    》 大阪会場    》 日本語での授業

---

## 言語について

モンゴル語はチュルク語(広義のトルコ語)、満洲・ツングース語と共にアルタイ諸語に属します。日本語と語順が同じでSOV(主語-目的語-動詞)型の言語です。他のアルタイ諸語と同様に古くより「母音調和」が存在し、語構成は語幹に接尾辞をつけて派生、活用していきます。印欧語に見られるような屈折特徴はきわめて少なく典型的な膠着語といえます。モンゴル語の話される地域はかなり広範囲にわたります。モンゴル国をはじめ中国領の内モンゴル、新疆ウイグル、青海省、甘粛省などの中国諸地域やロシア連邦内のバイカル湖周辺のブリヤート共和国、カスピ海に近いカルムイク共和国などで話されています。アフガニスタンのモゴール語もモンゴル系の言葉です。

本研修で学ぶのは、モンゴル国で使用されるハルハ方言に基づく標準語のモンゴル語です。

## 研修の対象者について

主としてモンゴル語を今まで学習していない方、初心者を対象とします。

## 研修内容について

まず、文字と発音でアルファベット、母音、子音、母音調和、アクセントについて学び、基本的な文型、基本構文、基本的な語彙を習得し、日常の会話に困らない程度の理解力、運用力をつけます。最終的に中級程度のモンゴル語の文章が読解できることを目指します。またチンギス・カン時代より使用してきたモンゴル文字の読解の手ほどきも行う予定です。

モンゴル語には7つの母音がありますが、唇を丸くする4つの母音の発音と聞き取りが大切です。モンゴル語は第1音節の母音は、はっきりと発音しますが、第2音節以下の短母音は、あいまいになります。文法的には名詞の格の使い方や動詞の活用がポイントになります。授業は日本人講師とモンゴル人講師がペアとなって行います。

## テキストについて

使用テキストとしては、会話編、読本編、文法編を用意する予定です。

## 研修期間および研修時間について

2015年8月3日(月)～2015年9月4日(金) 125時間  
午前10時00分～午後4時30分(土日は休講)

## 講師について(●は主任講師)

●橋本 勝(はしもと まさる)  
大阪外国語大学 名誉教授

中嶋 善輝(なかしま よしてる)  
大阪大学大学院言語文化研究科 准教授

Uuganbayar MYAGMARSUREN (オーガンバイヤル ミヤグマルスレン)  
大阪大学大学院言語文化研究科 特任准教授

## 文化講演について

実施しない予定. 詳細は後日ウェブサイトにてお知らせします.  
<http://www.aa.tufs.ac.jp/ja/training/ilc/ilc2015>

## 受講料について

75,000円(教材費込み)

